

体制整備(第3号様式・第4号様式)申請内容

体制整備では、自社のバリューチェーン分析、優先課題の特定、目標（KPI）の設定、ロジックモデルの作成などを行っていただきます。各取組のポイントは以下をご確認ください。

① バリューチェーン分析

- 自社事業のバリューチェーン（本業）と、SDGs（17の目標）との紐づけを実施
- 自社のバリューチェーンにおける、社会や自社にとっての正の影響（ポジティブな影響）や負の影響（ネガティブな影響）を可視化

② 優先課題（マテリアリティ）の特定

- バリューチェーン分析をもとに、自社の優先課題を特定
- どのように優先課題を特定したのか、説明を記載（説明は、図やグラフ等、文章によるものでも構いません。）

③ 目標・指標の設定

- 意欲的な目標の設定
- 目標は、具体的で計測可能な期限付きであるもの
- 成果を図るための基準を明示

**第4号様式に転記
(毎年の進捗報告でも使用)**

- ポジティブインパクトの創出とネガティブインパクトの緩和の両側面を含む、少なくとも3つの成果目標を設定
- すべての成果目標を新ビジョン（北九州市基本構想・基本計画）に紐づけ

④ 経営への統合（ロジックモデルもしくは価値創造ストーリーの作成）

- ここまでの取組内容が経営に統合していることを明記
- 例えば、インプット→事業活動・ビジネスモデル→アウトプット→アウトカムといった流れで、インパクトの創出に向けたロジックや価値創造の流れが分かる図を作成